

3. 沿川整備基本構想の概要

(1) 江戸川沿川整備基本構想（平成13年3月：国土交通省策定）

1) 沿川整備の目標

「水と緑で結ばれた潤いと安心のあるまちづくり」

2) 沿川整備の方針

- 江戸川の治水機能と密集市街地での防災機能の向上を図る防災まちづくり
- 沿川の多様な自然環境や市街地特性に対応した豊かなまちづくり
- 交通ネットワークの形成と連動した沿川地域の連携強化による活力あるまちづくり
- 江戸川とその沿川の豊かな自然と歴史を活かしたまちづくり

3) 河川空間の利用方針

<江戸川区関連>

- ・主に「整備ゾーン」として位置づけられ、高水敷や河岸を利用し、広場、公園、階段護岸等の整備を行い、各種レクリエーション、スポーツ活動等に利用することが望ましい空間
- ・サイクリングロード、避難地としての位置づけ
- ・河川防災機能は船着場整備、水防拠点、水防ヘリポート、河川敷ヘリポート各1箇所の計画

4) 沿川地域の整備構想

<江戸川区関連>

- ・市街地環境の維持・向上と防災機能の向上を図る地区に位置づけられ、良好な市街地環境の維持あるいは向上を図るため、市街地整備やまとまった建築物の建替え等を契機とした高規格堤防の整備を推進するとともに、江戸川のオープンスペースや舟運等を最大限に活かした防災機能の向上を図り、河川と市街地が一体となったまちづくりを推進する

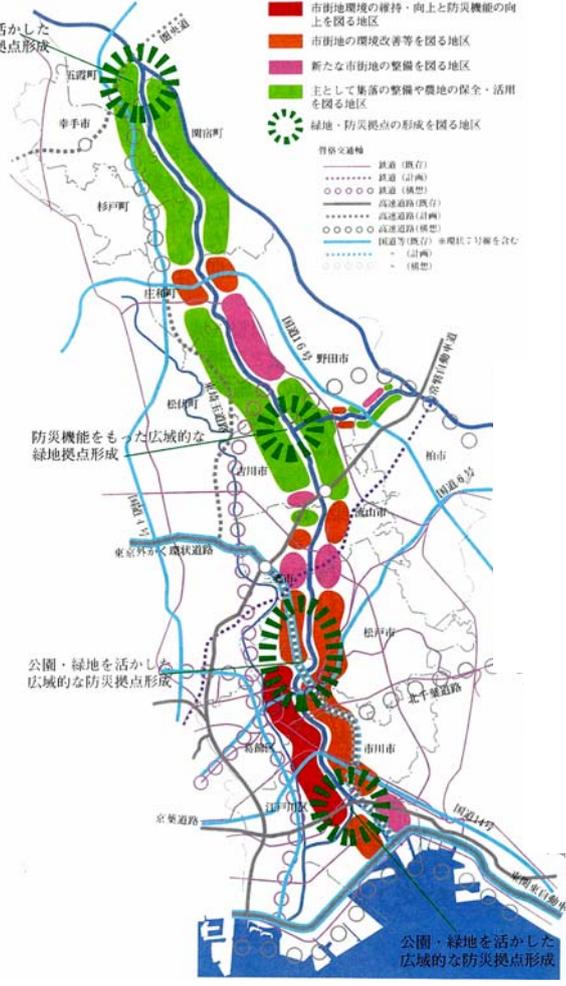
5) 整備・検討を進める地区

<江戸川区関連>

- 整備を推進する地区（該当なし）
- 整備の計画づくりを進める地区
 - ・江戸川水門地区：高規格堤防と一体的に河川管理施設（行徳可動堰）の改築及び河川防災ステーション整備を検討中の地区（河川防災ステーション整備事業：国土交通省）
- 調査・検討を進める地区
 - ・篠崎公園地区：道路や公園の計画と調整を図りながら、広域緑地防災機能強化が考えられる地区
 - ・上篠崎地区：道路の整備計画や緑地計画との調整を図りながら、市街地整備が考えられる地区

■江戸川沿川整備基本構想

公園・緑地を活かした
広域的な防災拠点形成



防災機能をもった広域的な
緑地拠点形成

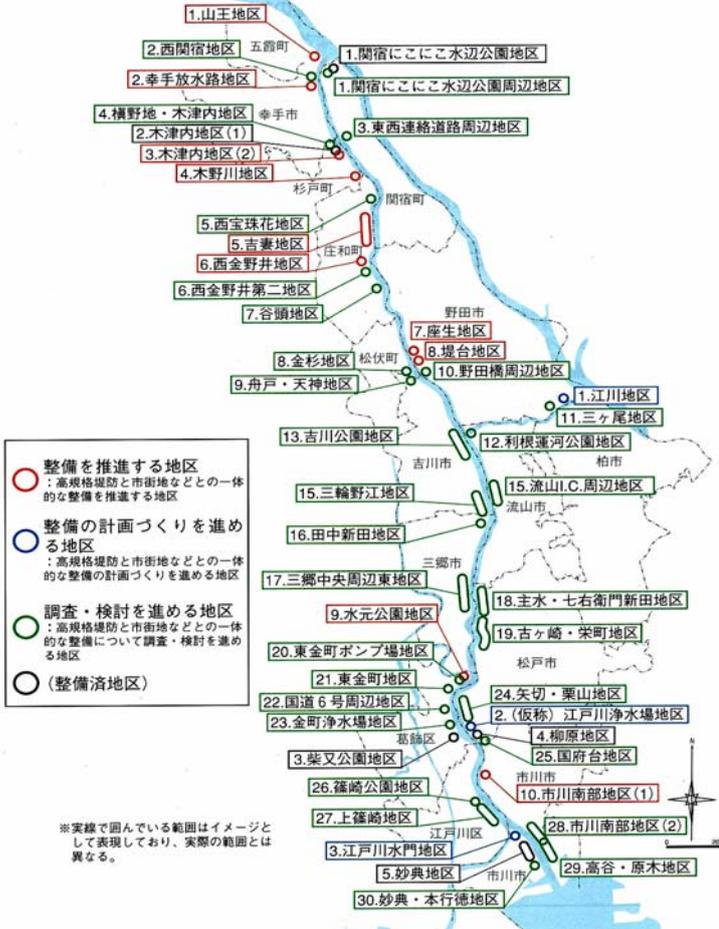
公園・緑地を活かした
広域的な防災拠点形成

公園・緑地を活かした
広域的な防災拠点形成

- 市街地環境の維持・向上と防災機能の向上を図る地区
 - 市街地の環境改善等を図る地区
 - 新たな市街地の整備を図る地区
 - 主として集落の整備や農地の保全・活用を図る地区
 - ★ 緑地・防災拠点の形成を図る地区
- 道路(計画)
- ○ ○ ○ 国道(計画)
 - ○ ○ ○ 高速道路(計画)
 - ○ ○ ○ 高速道路(既設)
 - ○ ○ ○ 国道等(既設) ※欄外に号数を含む
 - ○ ○ ○ 国道等(計画)
 - ○ ○ ○ (計画)

【河川空間の活用】

- サイクリングロード
 - 水上(ボート)遊覧
 - 遊 歩 地
 - 自然利用ゾーン
 - 整備ゾーン
- ※自然利用ゾーン：利根川水系特有の自然環境や景観を活かし、自然観察や野営広場、生産緑地等準自然的な環境を保全しつつ整備し、自然指向のレクリエーション活動ができる場所として利用することが望ましい空間。
- ※整備ゾーン：高水敷や河岸を利用し、広場、公園、階段遊歩等の整備を行い、各種レクリエーション、スポーツ活動等に利用することが望ましい空間。



- 整備を推進する地区
：高規格堤防と市街地などとの一体的な整備を推進する地区
- 整備の計画づくりを進める地区
：高規格堤防と市街地などとの一体的な整備の計画づくりを進める地区
- 調査・検討を進める地区
：高規格堤防と市街地などとの一体的な整備について調査・検討を進める地区
- (整備済地区)

※実線で囲んでいる範囲はイメージとして表現しており、実際の範囲とは異なる。

(2) 荒川（東京ブロック）沿川整備基本構想（平成12年3月：国土交通省策定）

1) 沿川整備の目標

「活力と魅力に溢れた安全で安心できるまちづくり」

2) 沿川整備の方針

- 災害に強いまちづくり
- 地場産業の活性化によるまちづくり
- 人と自然にやさしいまちづくり
- 水運と陸上交通ネットワークを活かしたまちづくり

3) 河川空間の利用方針

<江戸川区関連>

- ・左岸は、自然地ゾーンとして、都市における貴重な自然環境の保全に努め、水と触れあえる自然観察地や自然遊歩道を整備
- ・右岸は、自然地ゾーンと施設利用ゾーンに区分され、施設利用ゾーンでは河川敷のグラウンド利用や広場利用を、自然環境と共存できるように自然度向上の工夫を行いつつ、整備及び利用を図る。また、震災等の緊急時の安全な避難地や救援活動拠点として位置づけられる

4) 沿川地域の整備構想

<江戸川区関連>

- ・東砂・小松川地区では、防災拠点である東砂・小松川防災ステーションの整備及び市街地整備と一体となった整備を図る
- ・左岸と右岸上流部は、用途が調和した住居系市街地の形成を図るエリア、左岸下流部は、荒川の自然環境を生かした住居系市街地として発展を図るエリア、及び荒川の自然環境と調和した工業を中心とするエリアとして位置づけられる

5) 整備・検討を進める地区

<江戸川区関連>

- 高規格堤防と市街地整備を推進する地区
 - ・東砂・小松川地区（事業中）、平井七丁目地区（整備済）
- 整備の計画づくりを進める地区（該当なし）
- 調査・検討を進める地区
 - ・松島・新小岩地区：平和橋通りと京葉道路、JR総武線に囲まれた防災上の課題がある地区
 - ・平井周辺地区：住宅や店舗併用住宅、工場等による密集市街地、防災上の課題がある地区

■荒川（東京ブロック）沿川整備基本構想

